

## 令和3年度第1回相楽東部広域連合総合教育会議 会議録

1日 時 令和3年10月20日（水）午後1時30分～2時45分

2場 所 和東町体験交流センター 会議室

3出席者 広域連合長 平沼 和彦  
副広域連合長 中 淳志  
副広域連合長 堀 忠雄  
教育長 西本 吉生  
教育委員（教育長職務代理者）石橋 常男  
教育委員 村田 年宏  
教育委員 上村 恵子  
教育委員 植田 宏和

4傍聴人 なし

### 5議 事

#### (1) 開会

司 会 大西事務局長

#### (2) 広域連合長あいさつ

平沼 広域連合長

相楽東部広域連合総合教育会議設置要綱第4条に基づき、広域連合長が会議の議長として以下の議事について進行を行った。

#### (3) ICTを活用した学校教育について

「1人1台端末」利活用の推進状況と今後について報告し、意見交換を行った。

#### <主な質疑・意見交換>

##### ○教育委員

モバイルWi-Fiルーターの貸出の希望がなかったことについて、各家庭にWi-Fiの環境が整っていると理解してよいか。

⇒デザリング機能を使って、スマートフォンをルーターにした形で接続等を行っている家庭もあると聞いており、すべての家庭にWi-Fiの環境が整っているわけではないと考えている。

##### ○教育長

山城管内の中でも広域連合はICTの利活用が進んでいる。月1回、各学校のICT担当者を集めて会議を開催し、そこで色々な情報交換を行っており、その効果があったと考えている。

○副連合長

機器のメンテナンスについて、考えていくことも必要である。

○副連合長

学校間で通信速度に違いがあることについて、気になるところ。調査するなど、状況を把握して、取り組んでいかなければならないのではないかと。

どこに問題があるかを専門のところに聞く必要がある。

○教育長

どこに原因があるのかを調査や分析を行っていく。

○連合長

調べた結果が分かれば連絡して欲しい。

#### (4) 教員の働き方改革について

〔 教職員の働き方改革について、現状を報告し、意見交換を行った。 〕

#### <主な質疑・意見交換>

○副連合長

共同学校事務室のイメージが湧かないが、どういう仕組みなのか。

⇒中学校区単位でその小中学校の事務職員が一つの拠点校に集まって、共同で各校で共通するような事務を行っていく取組となっている。

○教育長

事務職員には各校で共通の仕事があり、その仕事について、皆が集まって分担して、やっていくというもの。

○副連合長

超過勤務は減ったけど、サービス残業が増えていたら、何にもならない。

○教育委員

教職員が健康で明日への意欲と子どもと向き合う時間、子どもの問題を家に持って帰らないように解決をすること、その部分をバランスよくやっていくということが大事ではないかと。

○教育委員

教職員が今まで温めていた学校の温かみという部分が時間が制約されるがために日陰になってしまう。非常に無味乾燥的な雰囲気になっていることが全国的な状況となっている。時間の中でやるだけの仕事になっているところがある。

○連合長

そういうこともあり、教職員の成り手がだんだん減ってきているのではないかと。

○副連合長

中学校のクラブ活動で、教員を補佐する形で外部指導の方が来ていただいているが、よい取組である。

卒業してから自分に自信を持って教えに行けるし、先生の助けにもなる。

○教育委員

クラブ活動のあり方は、最終的には学校から外し、地域スポーツの中で指導者を立てて地域で担うことが目標であるが、そう簡単にはいかない。

○教育長

働きやすさには、時間よりも、職場の雰囲気が大事である。例えば、5時15分になって

から、すぐ帰るのもよし、そこから教職員の仲間がテーブルを囲んで今日あったことを互いに励まし合うなどしてもよい。

○副連合長

働く雰囲気大事。役場でも楽しい職場にしよう、いつも楽しくやろうと口癖のように言っている。

○副連合長

結局、行政も教育もここまでやったら終わりですというものがない。100までやったら105、110と次の課題が出てくるので、それをどこかで切れということ。働き方改革というのは、この線で切りなさいというものであり、それはなかなかできない。

○連合長

そこには個人差があると思う。どこまで掘り下げていくかということになる。

(5) その他について

〔 議題以外のことについて、意見交換・報告等を行った。 〕

<主な意見交換・報告等>

○教育長（報告）

緊急事態宣言が解除となり、当連合の学校行事としては、中学校の修学旅行を予定通り実施した。小学校については、臨海学習を行ったところであり、修学旅行は10月末に行う予定。

また、笠置小学校のPTAが児童の数が少ない中、一生懸命に努力したことが認められ、京都府から推薦していただき、文部科学大臣表彰を受けることになった。